

はじめに

群馬県少年の主張西部地区大会は、八月一日、松井田文化会館において盛会のうちに開催することができました。御来賓として御臨席いただきました安中市教育委員会教育長岩崎 聡 様には、公務御多用の中、御祝辞を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

群馬県少年の主張は、少年が社会の一員としての自覚を高めることを目的に、昭和五十四年に始まり、今年度で第四十八回を迎えました。

本大会は、県内の国公立・私立中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の生徒が参加する「オール群馬」の大会です。西部管内では、西部地区大会に向けて九市町村の約一万二千人の生徒が参加し、その中から二十一名が代表として出場しました。約六百人に一人という厳しい選考を経て臨んだ発表は、いずれも心を揺さぶる素晴らしいものでした。最優秀賞には四名が選ばれましたが、どの発表も西部地区の代表として大舞台で十分に通用する力を備えたものであったと確信しております。

発表の間、語られる言葉にうなずきながら聞き入る人、内容に共感して思いを巡らせる人、発表者の体験に心を動かされ、涙をぬぐいながら耳を傾ける人の姿が見られました。この素晴らしい発表が完成するまでに、発表者の皆さんは何度も原稿を読み返し、繰り返し声に出して練習を重ね、一つ一つの言葉に思いを込めてきたことでしょう。御家族の皆様も、その声を通して努力を重ねる姿を誇らしく見守ってこられたに違いありません。発表に至るまでのためゆめ努力に、心から敬意を表したいと思います。

小説家の井上ひさしさんは、「一番大事なことは、自分にしか書けないことを、誰にでも分かる文章で書くということ。」という言葉を残しています。西部地区大会に参加された二十一名の皆さんは、人に伝えることの難しさと素晴らしいさを誰よりも実感したはずで、す。だからこそ、人に伝えたいことを難しい言葉で飾るのではなく、自分なりにかみ砕き、分かりやすい言葉で丁寧に伝えることを、これから大切にしたいと思っています。

おわりに、各地区大会及び西部地区大会の開催に当たり、御指導、御尽力いただきました先生方、市町村青少年行政担当者の皆様、青少年健全育成関係団体の皆様をはじめ、本大会を支えてくださった全ての関係者の皆様に、心から御礼申し上げます。

令和八年八月